

クレーン作業等の基本的ポイント

- 1 クレーン等の性能、機能を把握し、無理な運転は行わないこと。
- 2 過負荷防止装置等を有効に保持し、定格荷重を超える荷は、絶対につらないこと。
- 3 つり荷の質量目測は正確に（若しくはやや多めに）行うこと。
- 4 運転の合図は、一定の合図を定め、指名された合図者が行うこと。
- 5 荷をつったまま運転位置を離れないこと。
- 6 荷の形状、寸法、質量等に応じた適切な玉掛け方法を行うこと。
- 7 フックは、つり荷の重心の真上に位置決めを行うこと。
- 8 衝撃、荷振れ運転及び斜めつりはしないこと。
- 9 地切り後一旦停止し、玉掛用ワイヤロープの張り及びつり荷の安定等を確認すること。
- 10 つり荷の下に作業者を立ち入らせないこと。
- 11 強風等により危険が予想されるときは作業を中止すること。
- 12 地盤の状況、周辺整備、作業者等の周囲状況の安全確認を行うこと。
- 13 移動式クレーンは、原則としてアウトリガーを最大に張り出して作業すること。